

～地域の農業を守る～

藤田 準さん（新居浜市）

株式会社 百姓屋、藤田代表取締役

新居浜市青年農業者協議会会長 1982年生まれ

フェイスブック：<https://www.facebook.com/hyakushouya.fujita>



☆経営概況☆

水稲の生産・販売・加工及び作業受託を中心に、露地野菜の栽培も行っています。

水稲作付5.9ha、水稲作業受託延べ15ha、乾燥・調製80t（17ha）。加工品製造販売。露地野菜0.1ha（にんじん、だいこん、オクラ等）

☆ここがポイント☆

実家は兼業農家でしたが、やるならばとことん農業をしたいと考え、平成16年から専業農家となり、平成28年1月に「株式会社 百姓屋、藤田」を設立しました。当初80a程から始めた農業でしたが、地域の農業者から信頼を得て、土地を預かるようになり、**現在も規模を拡大**しています。

地域では高齢化が進んでおり、農地の維持・管理が難しくなっています。そこで、**自社でライスセンターを開設**し、水稲の作業受託を積極的に行うことで、地域農業を支えられるよう努力しています。

水稲については、消費者ニーズに合わせた品種を減農薬で栽培することにこだわっており、学校給食への供給、飲食店や個人への販売を行っています。

お米の加工品開発にも取り組んでおり、現在は自身の栽培したお米をポン菓子へ加工し、地域のイベントや結婚式の引き出物としての販売や、加工受託も承っています。

工業都市として発展してきた新居浜市は、農地の基盤整備が進んでおらず、圃場の数が多くなります。そこで、収穫期には**シェアリングの大型コンバインも導入**し、効率的な作業を行うことで、適期刈り取りを行い、作業受託数を増やしています。

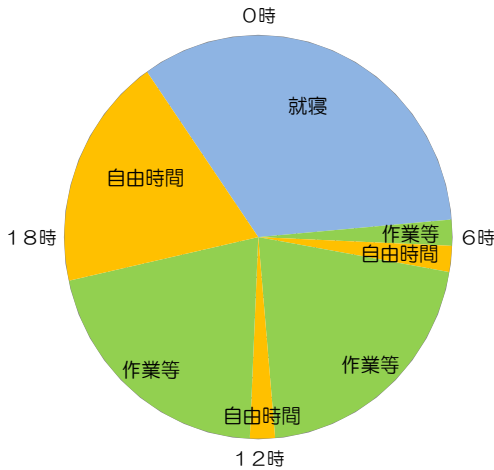


自社のライスセンター



シェアリングコンバインでの刈り取り

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

地域の人との繋がりを大切にするため、農業だけではなく、地元のお祭りや消防団、青年会議所等の地域活動も積極的に参加するよう心がけています。

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】	休日は不定期（天候等により作業が少ない時が休日）					
← 作業 →						
【普通期】	← 作業 →					→ 休日 ←



冬季限定「玄米チョコポン」

地域の青年農業者とイベント

☆これからの夢や目指すもの☆

ライスセンターの設備をさらに充実させ、将来的には30~40ヘクタールの作業受託を行いたいと考えています。少しでも農業を続ける人の作業負担を減らす手助けとなることで、地域の農業を守っていききたいです。

加工品のポン菓子は、引き出物等の贈答品としての販路を拡大し、更なる経営の発展を図ります。

これからも、物づくり・人づくりを大切に、地域を巻き込んで農業の発展に貢献していききたいです。

☆メッセージ☆

神話の時代から行われてきた稲作。稲は「命の根っこ」です。

これからも農業という職業に誇りをもって、こだわり抜いたお米をみなさんにお届けします。